

佐倉市議会だより



2022年5月1日
(令和4年)

発行：佐倉市議会 編集：広報公聴委員会 〒285-8501 佐倉市海隣寺町97番地 TEL 043-484-6254 FAX 043-486-2508
佐倉市ホームページ <http://www.city.sakura.lg.jp> メールアドレス gikai@city.sakura.lg.jp



目次	本会議、予算審査特別委員会の概要…P1	一般質問…P2~5	主な議案の概要…P5
	議案賛否一覧…P6	議案に対する会派等の意見…P7	委員会報告、6月定例会の予定…P8

2月定例会

会期 2月21日~3月22日

令和4年度当初予算 令和3年度補正予算 可決・同意

佐倉市議会は、2月21日から3月22日までの30日間にわたり、令和4年2月定例会を開催しました。

今定例会では、市長から「令和4年度佐倉市一般会計予算」など議案40件と諮問1件が提出され、審議の結果、いずれも可決・同意しました。議員提出議案については、「ロシアによるウクライナへの軍事侵略に対する決議」など9件が提出され、審議しました。また一般質問には各会派の代表質問に6人、個人質問に5人が登壇し、市政について広範囲の質問を行いました。

予算審査特別委員会が設置されました

委員会審査では、担当職員からの説明と質疑応答により、予算内容の詳細把握に努め、9つの各会計予算について、慎重に審査を行いました。定例会の本会議において、中村孝治委員長から審査結果の報告をするとともに、次の7点において要望いたしました。

- ◆今後の人口減少抑制のためには、定住促進に向けた施策展開はもとより、それら施策を市内外に広範かつ効果的に発信することが重要である。ウェブ等を活用した情報発信は、市のイメージづくりなどに不可欠であることから、今後の公式ウェブサイトの更新においては、見やすさ、使いやすさに配慮した、機能的で、直感的なものにし、シビックプライドの醸成などシティプロモーションに資するものにしていただきたい。
- ◆第5次総合計画策定以降、頻発する自然災害や新型コロナウイルス感染症の蔓延などにより、新たな生活様式への対応が求められている。令和5年度の中期基本計画策定に当たっては、DXも加味するなど時代に即した計画策定を期待する。
- ◆公共施設の今後のあり方については、DX推進による市民サービスの向上や職員の働き方改革による影響を十分に考慮し、有効かつ適正な配置となるよう、庁内横断的に検討していただきたい。
- ◆社会が大きく変容する中、持続可能な行政運営を堅持するため、地域の実情や行政需要を的確に捉えることができる有能な人材の確保に努めていただきたい。
- ◆通学路には、依然として対策が必要と思われる箇所があることから、今後も地域住民や関係部局とも連携し、子供の安全対策に尽力していただきたい。
- ◆4月からの水道料金値上げ後も、水道事業経営は依然厳しい状況にあることから、新たな収入源の確保などを含め、経営基盤の改善、強化と業務の効率化に努め、安全な水道水を安定して供給し続けていただきたい。
- ◆保育園及び学童保育については、新年度のニーズを踏まえた待機児童対策を講じていただきたい。特に昨年購入した西志津小学校仮設校舎については、その購入目的に沿い、有効活用するよう努めていただきたい。



予算審査特別委員会委員 (◎委員長 ○副委員長)
松島 梢、徳永由美子、山本英司、押木孝和、齋藤明美、密本成章、藤崎良次、萩原陽子、◎中村孝治、○岡村芳樹、島田 浩、敷根文裕

議案を pickup!

【発議案第1号】

「ロシアによるウクライナへの軍事侵略に対する決議」

を全会一致で可決しました。

ロシアによるウクライナへの軍事侵略に対する決議 (全文)

2月24日、ロシア軍がウクライナ領内に侵攻し、攻撃が開始された。一部では、その被害が一般民間人にも及んでいるとの報道もあり憂慮している。

社会が成熟しつつある現在、国際紛争を解決する唯一の方法は、話し合いであると確信しており、まずは、ロシア軍の即時撤退を強く求める。

また、国においては、在留邦人の安全確保に全力で取り組むとともに、国際平和を希求し、武力による国際紛争の解決を否定した憲法を有する国として、国際社会と連携し、一日も早い事態収拾に向け、行動するよう求めるものである。

以上、決議する。

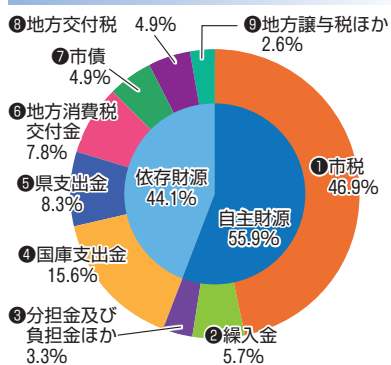
令和4年3月3日

佐倉市議会

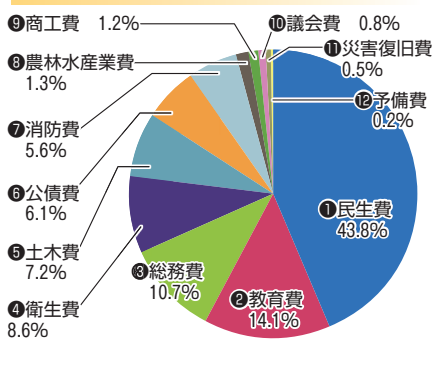
※なお、全議員28人が賛同し、日本赤十字社の「ウクライナ人道危機救援金」に対して28万円を送金いたしました。

令和4年度当初予算 一般会計509億1,900万円の内訳

歳入



歳出



①市税	238億9,062万9千円
②繰入金	28億8,956万2千円
③分担金及び負担金ほか	16億7,794万6千円

④国庫支出金	79億5,116万6千円
⑤県支出金	42億5,080万円
⑥地方消費税交付金	39億5,300万円
⑦市債	25億 690万円
⑧地方交付税	24億9,400万円
⑨地方譲与税ほか	13億 499万7千円

①民生費	222億9,507万7千円
②教育費	71億8,439万3千円
③総務費	54億3,265万6千円
④衛生費	43億5,972万円
⑤土木費	36億5,464万8千円
⑥公債費	31億 186万円
⑦消防費	28億4,630万8千円
⑧農林水産業費	6億8,404万1千円
⑨商工費	6億2,199万円
⑩議会費	3億9,637万7千円
⑪災害復旧費	2億4,193万円
⑫予備費	1億円

令和4年度各会計の予算額

会計名	予算額	前年度比
①一般会計	509億1,900万円	(7.4%)
②国民健康保険	184億3,704万2千円	(3.9%)
③公共用地取得事業	16万円	(-94.2%)
④農業集落排水事業	2,172万1千円	(8.3%)
⑤介護保険	136億5,503万4千円	(2.0%)
⑥災害共済事業	503万4千円	(0.1%)
⑦後期高齢者医療	30億3,614万5千円	(10.3%)
総合計	860億7,413万6千円	(5.8%)

会計名	収益的収入	収益的支出
⑧水道事業会計	43億6,252万9千円	43億1,563万6千円
	資本的収入	資本的支出
	1億4,032万3千円	21億5,734万4千円

会計名	収益的収入	収益的支出
⑨下水道事業会計	41億3,649万6千円	36億4,866万円
	資本的収入	資本的支出
	4億9,768万円	13億7,900万1千円

市政に関する

一般質問

2月定例会では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一般質問は質問時間を短縮し、2月28日から3月3日までの4日間行いました。市政に対し活発な議論が展開されましたので、その一部を掲載します。

詳細については、市役所1号館2階市政資料室・市内各図書館にて会議録(5月下旬発行予定)の閲覧、または、佐倉市議会ホームページの会議録検索システム(5月下旬配信予定)からご覧いただけます。

一般質問通告要旨

代表質問 ※は持ち時間40分、それ以外は20分。()内は会派名。

岡野 敦(さくら会) ※

- ①市長の政治姿勢(行財政運営等)
- ②健康推進
- ③都市基盤の整備
- ④地域振興
- ⑤行政運営
- ⑥当面の課題

石井秀明(自由民主さくら) ※

- ①佐倉市の財政と新型コロナ対策について
- ②自治会・町内会活動と消防団について
- ③佐倉市の農業について
- ④地域問題について

久野妙子(公明党) ※

- ①令和4年度市長の施政方針と当初予算編成について
- ②新型コロナウイルス感染症対策について
- ③防災対策の強化について
- ④ヤングケアラーへの支援体制について
- ⑤デジタル・トランスフォーメーションについて

川口絵未(市民ネットワーク)

- ①市長の政治姿勢について
- ②デジタル化と個人情報保護について
- ③学校生活について

木崎俊行(日本共産党) ※

- ①市長の政治姿勢
- ②オミクロン株の急拡大、市民の暮らしの現状をどう捉えているのか
- ③水道料金値上げ中止を

藤崎良次(ひまわり会と市民オンブズマン)

- ①市長の政治姿勢
- ②消防団について
- ③福祉施設について
- ④人件費と手数料、使用料

個人質問

玉城清剛

- ①環境省計画の個人温室効果ガス削減について
- ②ごみ排出量削減について
- ③ごみ処理経費について
- ④4Rの実情及び効果について

稲田敏昭

- ①上下水道料金生活保護減免制度廃止について
- ②新型コロナ感染症対策について
- ③鳥獣被害対策について
- ④京成佐倉駅北口エレベーター設置について

松島梢(市民ネットワーク)

- ①保育園について
- ②HPV(子宮頸がん)ワクチンについて
- ③ソーラー発電の建設について

五十嵐智美(市民ネットワーク)

- ①官製ワーキングプア問題について
- ②債権管理のあり方について
- ③困難を抱える子どもたちの支援について

宇田美生子(ひまわり会と市民オンブズマン)

- ①市民の声
- ②持続可能な佐倉市のための行財政改革
- ③新型コロナウイルス感染症対策
- ④人間ドック・脳ドック助成制度
- ⑤上別所のごみの山

◎上記の通告内容は、質問者から議長に文書で通告のあった内容に従い、大項目のみ掲載しています。

代表質問



市長の政治姿勢

問 令和4年度当初予算概要と市税を堅実に収入にするための取り組みを伺う。

答 健全で持続可能な財政の確立を基本方針に、経常経費の圧縮に努めた。スマートフォン決済など、納付の利便性を向上させる。

問 令和6年度から始まる第5次佐倉市総合計画・中期基本計画をどのような方針で策定するのか伺う。

答 社会変化を考慮し、市民意見の把握に努め、4年度中に、策定方針を示す。

問 佐倉市が明るく元気な笑顔を取り戻すことができよう期待する。

健康推進

問 第5次佐倉市総合計画重点施策「市民の健康づくりの推進」や「生活習慣病の予防、がん検診の早期発見を図ること」における、今後の健康づくり事業の予定について伺う。

答 新たに令和4年度から前立腺がん検診を実施する。前立腺がん検診を新たに導入することで、健康寿命の延伸に期待する。

都市基盤の整備

問 (仮称)佐倉西部自然公園は、目に見えた整備が進んでいない。どのような検討を行っているのか伺う。

答 新年度中に基本計画を改定し、用地取得に向け計画的に予算化していく。

問 目に見える形での整備が進むことを期待する。

問 佐倉市江原台第二土地

区画整理事業は、盛土後の進展が見られない。今後の予定について伺う。

答 盛土工事による影響等、地盤の安定状況を確認中。事業期間が延長され、今後、調整池及び擁壁工事、上下水道等インフラ整備及び宅地造成工事等を行う。

問 盛土の安全対策など、円滑に進むよう期待する。

問 今年度の観光事業の実績と今後の方向性について伺う。

答 各種花のイベント、分散型花火大会、雷電関連イベントなどの取り組みを行った。今後、感染症対策や創意工夫を行い、観光事業の一層の推進を図る。

問 地域と連携した新たな取り組みを期待する。

行政運営

問 公共施設等総合管理計画の見直しの進捗と公共施設適正化に向けた対応は。

答 計画は今年度中に改訂版を公表予定。今後、再配置方針素案の作成等を予定。当面の課題

問 市が設置した防犯カメラの運用状況、今後の整備計画を伺う。

答 駅前や通学路を中心に設置。今後、古いカメラの更新を行い、新設については効果的な設置を検討する。

問 今後、古いカメラの更新や整備を期待する。

問 民法の改正により、成年年齢が18歳に引き下げられるが、消費契約等の注意喚起、被害を未然に防ぐ対応について伺う。

答 若者に、注意喚起を図るため、インターネットなど様々な機会を捉え、周知

啓発・相談に努める。

問 若い世代が、佐倉に愛着を持ち、佐倉に住み続ける「魅力的なまちづくり」に議員として全力を尽くす。

問 令和4年度当初予算非常に困難な財政運営を強いられる中、どのように予算編成をされたのか、来年度予算案に込められた、市長の意気込みを伺う。

答 災害復旧、感染対策、子育て支援、高齢者福祉の充実を引き続き取り組む。特に児童生徒の通学路の安全確保や生活道路、幹線道路の整備などの建設費用を大幅に増額。またコロナ収束後の経済活性化策についても予算計上した。

新型コロナウイルス対策

問 3回目の接種もファイザーを希望する人が多いが、ファイザーが打てる医療機関の予約状況を伺う。

答 ファイザー接種可能な医療機関数の予約枠は3月中旬までおおよそ100%、一方でモデルナの予約状況は75%程度。ファイザーの予約枠は、今後予約の発送に合わせて徐々に枠を拡大していく予定。

問 消防団員数が減少しているという状況から見て、若い世代に消防団の認知度を上げることが重要だと思

答 消防団員数の減少しているという状況から見て、若い世代に消防団の認知度を上げることが重要だと思

問 消防団員数の減少しているという状況から見て、若い世代に消防団の認知度を上げることが重要だと思

答 市の広報紙や広報番組

市の広報紙や広報番組

市の広報紙や広報番組



で紹介するほか、リーフレットを作成し、自治会町内会等の回覧とともに成人式での配布も併せて行っている。今年度からは市ホームページにおいて活動報告を写真とともに随時掲載をし、消防団活動の有意義性についてPRも始めている。

佐倉市の農業

問 将来的にみた健康面や環境面の観点からも、またこれからの農業の発展からも、ぜひ学校給食食材の有機農産物化を進めるべきと考えるが、西田市長のお考えを伺う。

答 関係課、JA、生産者と連携し、有機農産物を生産するための基盤づくりが最優先であり、また学校給食に取り入れるためには、様々な課題があるので、十分に検討していくことが必要と考えている。

地域が抱える問題点

問 通学路整備について、各小学校から抽出のあった危険箇所合同点検を8月、9月に実施されたが、その後の対応状況を伺う。

答 土木部が対策を実施する箇所のうち16か所が完了、12か所は3月末までに完了予定、残りの箇所はほとんどは令和4年度に整備を完了する予定である。

問 今回の明神台調整池法面復旧工事は明らかにさまざまな施工管理による事故だと思いが、業者選定は単に

金額面からのみの選定ではなく、工事内容から、より適切で組織的に問題のない業者選定が必要だったのではないか。

答 業者の選定については制限付き一般競争入札で決定した。今回の事故を受け、発注条件等については、現行の入札制度の中で、安全により良いものを建設できるように土木部内で検討を始めている。

問 業者の選定については制限付き一般競争入札で決定した。今回の事故を受け、発注条件等については、現行の入札制度の中で、安全により良いものを建設できるように土木部内で検討を始めている。



公明党
久野妙子

令和4年度当初予算、重点施策への予算措置について

問 公明党は昨年9月、予算編成に関して多岐にわたる政策要望書を提出した。乳幼児健診の充実等も訴えてきたが、新規事業等新年度の予算措置について伺う。

答 待機児童ゼロを継続するため民間保育園等施設整備助成や子供の貧困対策に向けた子ども・子育て支援事業計画の中間見直し、IGAスクール構想に基づく小中学校の情報機器整備に要する経費等を計上。また交通安全施設や生活道路や施設老朽化対策、コロナ収束後の経済活性化策に係る予算を増額。新規事業で、乳幼児健診の充実を図る3歳児視力スクリーニング事業や多胎妊娠婦の経済的な負担軽減を図る助成、市役

所の庁舎及び小中学校体育館のLED照明化等にも予算配分した。

今後の公共施設の在り方

問 各地区に1か所という安易な考え方ではなく、人口比重や公共交通等様々な要因を加味し、公共施設利用者の目線に立った配置計画を検討すべき。今後の在り方について、方針・計画等のスケジュールを伺う。

答 令和5年度以降に外部委員会を設置し、市民の視点に立った方針や実施計画を策定する予定。

新型コロナウイルス感染症対策について

問 市内で受けられる無料のPCR等検査の実施状況、また県が新たな取組として無料検査キットを配布すると聞くが、その内容を伺う。

答 市内において、県の無料検査を実施する事業所は18か所で、検査の実施件数等の詳細は非公開。県では、重症化リスクの低い方を対象に検査キットを配付し、陽性だった場合には本人が情報を登録し、医師が発生届を作成し提出を行う「千葉県新型コロナウイルス感染症検査キット配付・陽性者登録センター」を2月21日より設置。

気象防災アドバイザーの活用について

問 災害時、早期の避難情報が発令などを市に助言、職員の防災人材育成、住民

の防災意識の向上にもつながると高い評価を得ている気象台OB・OGの「気象防災アドバイザー」活用を検討状況について伺う。

答 現時点での採用は考えていないが、配置をしている防災官のスキルや銚子地方気象台をはじめとした関係機関からの情報を活用して、防災体制を整えていく。ヤングケアラーへの支援体制について

問 ヤングケアラー本人の認識や、社会的認知度の向上には、福祉・医療・介護・教育機関の職員に対する研修の拡充が重要。また、「ヤングケアラー・コーディネート」の配置や、当事者同士が悩みや経験を共有し合うオンラインサロンの運営・支援等も国の補助制度が活用できる見込み。支援体制構築について、今後の方針を伺う。

答 啓発方法や関係機関との情報共有、連携促進など諸問題に対する協力体制づくりに関する検討を進める。



市民ネットワーク
川口絵未

市長の政治姿勢について

問 道路や公園を新設・拡張のための土地購入や、新佐倉図書館に、巨額の費用が投じられる。コロナの中、4月から水道料金、公民館使用料等が値上げされる。税金の使い方に、非常に問

題があると考えるがどうか。

答 市民生活を豊かにするために未来への投資は必要。新型コロナウイルス対策

自宅療養者への市独自の支援は何かあるか。

答 保健所への職員派遣や、自宅療養者への連絡確認等。

問 その他の協力も積極的に進めるよう要望する。

問 ワクチンで副反応は。

答 副反応疑いは16件。

問 相談や継続的な体調管理など、寄り添った支援を。

問 マイナンバーカードの危険

問 マイナンバーカードと暗証番号があれば、なりすましで個人の情報を見ることができる。カードや暗証番号を、必要な時以外持ち歩かないよう周知徹底を。

答 暗証番号を記載した紙は、カードと別に保管するよう周知徹底に努めている。

小中学校の「放射線副読本」

問 放射線副読本と同梱されたALPS処理水に関するチラシは、トリチウムはALPS処理では取り除かれないこと、薄めて海に流しても放射性物質の総量は変わらず、危険性が減らないこと、福島県漁連など全国の漁業関係者が猛反対していることの記事がない。偏った非科学的なチラシを子どもに配ることは問題。

答 参考にしつつ活用する。

問 この情報も子どもに伝え、自分で考える指導を。



日本共産党
木崎俊行

市長の政治姿勢・新自由主義をどう捉えているのか

問 岸田首相は新自由主義的弊害を是正する仕組みを埋め込むと表明したが、格差と貧困を広げてきた反省がない。労働法制の規制緩和、社会保障の連続改悪、消費税の増税等で、賃金が上がらず、日本は成長力を失った。市長は、新自由主義をどう捉えているのか。

答 規制緩和、構造改革を進め、民間の自由競争を促進させる施策を新自由主義的施策と理解している。

問 市政においても、派遣、委託などの非正規雇用の増加がある。共同する会派の議員は、業務委託先の職人が公定価格より低い賃金で作業していることを現場訪問等で確認済みだ。公務を民間に任せると最賃を下回る労使問題にならないか。よしとする考えでいいのか。

答 統計を見て、今後、安心安全をしっかりと認識し、対象者の声に聴きたい。

教育予算を上回る国の軍事費と教育現場の人員未配置

問 軍事費は、過去最大6兆円超え。文教予算は5兆数億円で、教員定数は約3300人も減少。市も教員の定数不足。十分な教師の人員で豊かな知識と人間性で相互尊重の考えが育ま

れ、対話、平和外交を求め、心が生まれる。平和を実現する力は教育の力。現在の市内の教師未配置校実態は、結局教頭先生などが代替教員で、さらに多忙、過労である。産休を取る先生に、おめでとうと素直に言える状況かどうかたす。

答 2月1日現在、8校で8名。産育休は、できるだけ代替教員配置を県教育委員会に要請。

国際社会の動向、市平和条例、市長が声を上げる時だ

問 「日本政府は核兵器禁止条約に批准せよ」署名に、市長の肩書きで県内2番目にサインされた、敬意を表す。市は平和条例を持つ。独自に、ロシアの大統領にウクライナから撤退せよ、戦争はやめよ、の抗議文提出を提案する。

答 自身そういう文書を発して、一日も早く世界平和を取り戻さなければならぬと考えている。

オミクロン株の急拡大、市のコロナ対策独自施策とは

問 コロナ対応臨時交付金が、残額を生じ、国に返還本主に一人も取りこぼしていないか。看板が消えれば市から一声かけ相談につなげる、それが制度の執行だ。独自の施策とは、制度を国のメニューから選ぶだけでなく、対象を見つけ出して、足を運んで相談する、市民と汗を流す、一緒に涙する、

そこまでやって独自施策だ。

答 取りこぼしなく、できるだけ応えたいが、国が交付金の使い勝手をもう少しよくしてくれたいと思う。

コロナ禍配慮せず水道料金値上げは中止を

問 国のコロナ対応臨時交付金のリストに上下水道料金減免に充当できるとある。活用を提案。生活保護世帯の基本料金免除廃止は福祉の縮小。継続を。生活保護以外の中学生までの医療費助成を止めるのと同じだ。

答 交付金は、市全体の中で、検討されるべきもの。

佐倉市が最高額で第1位 県内住民票交付手数料金

問 手数料の決定に重要な職員の年額平均人件費単価は2017年提案と2021年提案で幾らか。

答 前回提案では、819万6千円、今回提案は811万5千円。今回提案が8万1千円低い。

問 職員人件費は前回比で、8万1千円も安い。しかし、市の手数料計算では人件費を高くし、使用料・手数料を値上げした。佐倉市の住民票個人交付手数料は、県内ナンバーワンか。

答 そのとおりである。

障がい者の入所施設

問 障がい者の入所施設に対する国の方針は。



ひまわり会と市民オンブズマン 藤崎良次

答 自立支援の観点から4年間で、入所者数の6%以上の地域移行、1.6%以上の削減を目標としている。

問 入所施設が増えない状態で困っている人は。

答 市内入所4施設は、空きがなく入所待ちの状態。在宅支援困難者は、短期入所や入院して入所先を探す。

問 深刻な状態にならないようにしてほしい。

消防団の出動手当、県内の6割が月額8000円に

問 県内市町村の消防団長官通知への対応は。

答 2月から3月の議会で改正予定が29団体。

問 市消防団の出動報酬金額は1回15000円である。29団体の金額は幾らか。

答 消防庁通知に合わせ、1日当たり8千円を予定。

問 佐倉市は大分遅れているようだが、理由は。

答 他市町村動向が不明だった。処遇改善に努めたい。



個人質問 玉城清剛

環境ごみ対策について

問 環境省は、個人温室効果ガス削減を見える化し、国民に脱炭素型ライフスタイルへの転換を促す実証事業を開始する。市の方策は。

答 国の施策の動向を注視し、効果的な施策が示された場合には、速やかに取り組むよう努める。

問 ごみ排出量の7割以上が生活系ごみ。30年度実績が5万2千トンから1万トン削減を計画。達成には市民の協力が要。市の方策は。

答 一般廃棄物処理基本計画で定めた方針に基づき、市民、事業者、市が協働しごみの排出抑制、減量化等の取り組みを進める。

問 令和2年度決算ベースで、全ての年間ごみ処理経費はいくらになるか伺う。

答 年間ごみ処理経費は、約14億6400万円。

問 4Rを基軸とした、資源物の売却益、処分費用全額の金額について伺う。

答 佐倉市・酒々井町清掃組合の売却益は、約1億6394万円。処理費用は、約2億5090万円。

問 ペットボトル店舗回収から集積所回収への変更予定に対し一部の市民から不満の声も。啓発活動や報奨金制度の検討を伺う。

答 ペットボトルのリサイクルを促進する施策は、今後の社会経済情勢の変化や回収状況、他市町村の事例等を踏まえて研究していく。

問 ゼロカーボンシティを目指すにはHPや広報に掲載しただけでは自己満足。行政が自治会等に足を運び事細かく協力要請すること達成への早道と考察する。



上下水道料金生活保護減免制度の廃止について

問 いつから減免制度が始まったか。

答 佐倉市水道事業が給水を開始した昭和31年から。

問 受益者負担の公平性の原則はどういうことか。

答 使用水量の度合いに応じて料金をいただくもの。

問 減免制度は政治的な施策として捉えるべき。まちづくりの基本方針に「ともに支え合い誰もがいきいきと暮らせるまち」を目指すとの趣意は減免制度廃止をどのように考えるか。

答 料金は全ての利用者が公平に負担すべきで減免制度の廃止は適切と考える。

鳥獣被害対策について

問 令和4年度に鳥獣被害対策実施隊を設置する予定とのことだが、活動人員の見込み、実施隊員の確保と今後隊員を増やすための取り組みは。

答 20名程度を見込み、今後国や県の補助金も活用した普及啓発、研修会の開催などで隊員確保に努める。

問 捕獲に必要なわな免許の取得費用について、個人負担の軽減を図ることが捕獲従事者の確保につながると思うが考えを伺う。

答 現在農業者のみになっている補助対象者の拡大など、個人負担の軽減について、



稲田敏昭

ど、個人負担の軽減について検討していく。

京成佐倉駅北口エレベーター設置について

問 確実に実施する工事ではないと設計、見積りは出せない京成電鉄から提起されているがその後の進捗は。

答 コロナ禍で進んでいない。協議は継続していく。

保育園について

問 国のコロナ分科会等で2歳以上のマスクを推奨する提案があり、否定的な声が多く出た。着用ルールは。

答 一律に着用を求めている。成長発達段階に合わせ家庭への協力を依頼。

問 来年度から一時預かりが拡充。今後の予定は。

答 根郷地区等で1か所増加予定、臼井千代田地区等でも新規実施に向け準備中。

HPVワクチンについて

問 重篤な副反応被害が相次ぎ積極的勧奨を中断したが来年度から再開。市は接種回数を6300回と想定。副反応被害者増加の想定は。

答 接種者の増加は予想。相談体制を整えて対応する。

問 ワクチンのメリットとデメリットを説明し予診票を渡すなど慎重な対応を。

答 国の動向等を注視する。

問 国は積極的勧奨を中止した間の無料対象者を公費接種の対象に追加すること



市民ネットワーク 松島 梢



を決めた。対象者の人数は。

答 5546人の見込み。

問 副反応被害が出た時の市の責任は大きい。実際に副反応被害者が出てから対応を考えるのか。

答 最新情報の周知と併せて副反応相談があった際は本人が不利益受けられないよう医療機関等と連携し対応する。

ソーラー発電の建設

問 建設が相次ぎ、開発業者と近隣住民とのトラブルが増加。市内の建設状況は。

答 発電設備設置は法の開発許可手続きの対象外で把握していない。国のデータでは昨年9月末で11件。

問 市で調査はしないのか。

市民ネットワーク

問 債権管理の在り方について

問 コロナ禍で水道使用が増え、家計の苦しい世帯も増加。4月から水道料金が値上げ。滞納者への対応は。

答 通知等をした上で納付の相談がない場合、納入期限から4か月後に給水停止。

問 今議会に債権管理条例が提案されている。これが成立した場合、滞納業務はどのように変わるか。

答 滞納者の生活状況を的確に見極め、市の債権の管理を適切に行っていくたい。

問 野洲市は条例施行の際「滞納は生活状況のシグナルと捉え滞納を市民生活支

援のきっかけとする」としている。市は条例成立と同時に滞納者を裁判に提訴すると申し出ているが、丁寧に市民の現状を調査し、どう対応するか判断するのが一番の仕事。効率的な対応ではなく慎重に検討するた

問 困っている市民に寄り添った債権の管理をしていただきたい。

答 困っている市民に寄り添った債権の管理をしていただく。困っている市民に寄り添った債権の管理をしていただく。

問 子どもの生活状況調査が実施され子どもの貧困対策を計画に位置付けるとのことだが、コロナ禍で苦しい家庭が増えている。市独自施策を今、考えているか。

答 今後計画策定の中で検討を進めていきたい。

問 調査に大まかなヤングケアラー項目がある。今後さらに具体的な調査が必要。現時点で予定はない。

問 市民の声は届いているか

問 市長は市民の声をどう受け止めているか。回答に際し注意すべき点や政策等立案の際の活用方法など、指示していることはあるか。

答 市政への率直な意見、要望を聞くことができる貴

重な機会。私も必ず目を通して見ている。意見を真摯に受け止め、迅速かつ適切に対応するよう指示している。

問 市民の声・アンケートなど市の保有するデータとインターネット上の市に対する市民の思いや期待を収集し分析したビッグデータを、将来の市の都市計画策定のための都市像に反映するために活用することも有効ではないか。

答 経済状況、情報化の進展等踏まえ、分析の在り方について研究していきたい。

問 チューリップフェスタ駐車料金徴収は警備費等を捻出するためとはいえ高過ぎる。料金差を設ける等駐車料金を安くできないか。

答 交通渋滞のさらなる激化を招きかねないため、料金差は現在予定していない。

問 多すぎる佐倉市職員の時間外勤務時間の縮減が急務

問 令和2年度職員の総時間外勤務手当額、時間外勤務者の最高時間数を問う。

答 時間外勤務手当の総額は約3億6千万円、最高時間数は797時間である。

問 上別所のごみの山 市の見解を市民に示すことが必要

問 これまでの経緯、撤去の状況、今後の見直し等、広報やHP等での説明を。

答 現在も県が継続して対応中であり、HP等で市の見解を示す考えはない。

佐倉市議会のホームページもご覧ください!

●本会議や常任委員会等委員会の会議録が検索できます。平成元年以降の本会議の会議録のほか、平成27年5月以降の常任委員会や議会運営委員会など委員会等の会議録も検索することができます。

●本会議の様子は、ライブ中継（開催時間中）・録画中継（開催日のおおむね1週間後から）で視聴できます。

●政務活動費のページ 政務活動費の支出の根拠に加え、取扱基準や経費の範囲の説明、平成29年分からは収支報告書とあわせて領収書を公開しています。



用語解説

※視力スクリーニング

主として弱視を早期発見するための検査。弱視の原因となる屈折異常（遠視、乱視、近視）、眼位異常（斜視）を発見する。

佐倉市では従来、3歳児健診は、保護者が各家庭で子どもに視力検査を行うなどし、指標が見えなかった場合は眼科医等による二次健診を案内していたが、今年度予算でスクリーニング検査機器を購入予定であり、3歳児健診時に屈折検査が行えるようになる。

主な議案の概要

2月定例会

市長から提出された議案のうち、議案第1号〜第9号は令和4年度の一般会計・各特別会計、公営企業会計の当初予算、議案第10号〜第16号、第17号は令和3年度の一般会計と各特別会計の補正予算、議案第17号〜第29号は条例の制定、議案第30号〜第32号は市道路線の認定、議案第33号は字の区域及び名称の変更、議案第34号、議案第35号は契約の締結、議案第36号は固定資産評価審査委員会委員の選任、議案第38号は副市長の選任、議案第39号は固定資産評価委員の選任、議案第40号は教育長の任命、諮問第1号は人権擁護委員候補者の推薦に関する議案です。（議案第1号〜第9号までの概要は1ページに記載しています。）

議案第10号 令和3年度佐倉市一般会計補正予算

歳入歳出それぞれ3億6991万1千円を増額するもの。補正後の予算総額は、560億4258万9千円。

国の令和3年度補正予算に計上された保育士等の処遇改善のための措置について、その実施時期を令和4年2月からとする国の方針が示されていること、所得制限等により同補正予算に計上された子育て世帯に対する給付の対象外となった者等に対しても、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して市独自に支援を行うこととし、これにより現時点において完了する見込みがない明神台調整池法面崩落対策工事についてさらなる崩落を防ぐため、早急に仮復旧工事を行うもの。

歳入は、国庫支出金、繰入金及び市債の増額。

歳入は、子育て世帯臨時特別給付金支給事業（市独自給付）、民間保育園等助成事業、学童保育所管理運営事業及び河川関連施設改修事業に係る事業費の増額。

継続費の補正は、明神台調整池法面仮復旧工事（かご崩落地点）を追加するもの。

繰越明許費の補正は、子育て世帯臨時特別給付金支給事業（市独自給付）、保育士・幼稚園教諭等処遇改善臨時特別事業（民間保育園等）及び放課後児童支援員等処遇改善臨時特別事業を追加するもの。

地方債の補正は、明神台調整池法面仮復旧債の限度額を変更するもの。

議案第37号 令和3年度佐倉市一般会計補正予算

歳入歳出それぞれ1億5818万2千円を増額するもの。補正後の予算総額は、576億1361万1千円。

令和2年度に交付決定を受けた新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金のうち令和3年度に繰越しをしたものについて、対象事業に充当してもなお残額が生じることが明らかになったことから、これを国に返還するもの。

歳入は、繰入金を増額。

歳出は、国庫支出金等返還経費の増額。

3月臨時会

議案第1号 令和3年度佐倉市一般会計補正予算

歳入歳出それぞれ3億7272万6千円を増額するもの。補正後の予算総額は、579億8633万6千円。令和2年度に交付決定を受けた新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金のうち令和2年度に繰越明許費を設定した事業費に係るものについて、当該繰越明許費に係る翌年度にわたる債務の負担に要する手続がなされていないことが判明し、対象事業に充当できない額が生じたことから、これを令和3年度佐倉市一般会計補正予算に計上した同交付金の返還額と合わせて国に返還するもの。

歳入は、繰入金を増額。

歳出は、国庫支出金等返還経費の増額。

ついで

2月定例会 議案第1号
令和4年度佐倉市一般会計
予算ほか各特別会計、公営
企業会計に賛成

令和4年度佐倉市一般会計予算は、新型コロナウイルス感染症が蔓延する中、その影響予測も困難な状況下で編成されたものだが、景気回復に伴う市民税の増収に加え、例年同様、国庫支出金など特定財源の確保、地方債や各種基金の活用を積極的に図った結果、令和3年度当初予算比で約35億円増となるなど、持続可能な財政運営の堅持に努めた予算編成であったと高く評価している。

歳出事業について概括すると、新型コロナウイルス感染症や災害復旧への対応に係る経費が引き続き計上されていることに加え、通学路等における歩行者、車両の通行の安全を確保する「交通安全施設整備事業」や、市民の移動・日常生活における安心、安全、利便性の向上を図る「生活道路整備事業」などが大きく増額されており、市民の生命や財産を守ることに重点が置かれた予算と評価したい。また、夢咲くら館や佐倉城址公園の整備、佐倉ふるさと広場の拡張整備といった、地域活性化に資する事業も計上されるなど、今日的課題への対応だけでなく、将来をも見据えた予算であると評価し、賛成した。

新型コロナウイルスの変異が繰り返され、第7波が懸念されている現状を踏まえれば、さらなる関連施策の展開が求められているものと考えられる。市民の健康や安全・安心の確保、アフターコロナ、ウィズコロナを見据えた、様々な地域活動を健全に継続させるための支援策など、地域の実情や市民が真に必要なとする対策を的確に把握し、迅速かつ着実に進めてもらいたい。

なお、各特別会計並びに公営企業会計についても、適正な予算措置がなされていると判断し、賛成した。

3月臨時会 議案第1号
令和3年度一般会計補正予算に賛成

本補正予算案は、令和2年度に交付された新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金のうち、国のルールに基づき、対象外となった額を2月定例会議案第37号の同補正予算と併せ、国に返却するために必要な予算を計上したもので、延滞金の発生等、さらなる損害を発生させないためにも、粛々と事務を進めるべきものと判断し、賛成した。

一方、本来、交付対象とされるべき事業が対象外となり、交付金を返還するに至った事務誤りについては看過できるものではなく、執行部に対して猛省を促すとともに、本件事務誤りの詳細について調査し、再発防止に必要なルール作り、体制づくりを早急に進めることを要望する。

また、本臨時交付金については、制度上、事業の追加や修正ができないなど、その利活用の点において課題があるように感じる。新型コロナウイルス感染症対応策は、刻々と変化する状況へ即応することが重要であり、制度の柔軟な運用による同交付金の利活用を促進し、より効果的で迅速な事業展開が可能となるよう国に要望するよう求める。

公明党

議案第1号 令和4年度佐倉市一般会計予算に賛成
意見を3つ述べた上で、新年度予算に賛成する。

一つ目、予算審査特別委員長の報告のとおり、新年度に合わせた待機児童対策である。特に昨年6月議会で可決し西志津小学校のプレハブ校舎を約4400万円で購入取得した財産について、児童保育所の拡充を目的に購入したにもかかわらず、新年度に数十人の待機児童が出ている。早い段階から予測されており、有効利用されず対策を講じないのは市民に説明がつかない。所信表明で児童保育を充実すると言われた市長には、適切な事業執行に努め配慮するよう苦言を呈す。

二つ目、少子高齢化の一層の進展に伴う健康寿命の延伸プラン、高齢者の移動手段の確保と社会参加の促進、併せて地域自治活動や市民公益活動を担う熱意ある市民への積極的な支援を願っていた。

三つ目、佐倉の魅力発信し、人の流れを定住につながるシティプロモーション事業について、新年度より組織の改編が行われることから、より効果が高まるよう努めるとともに、シビックプライドを高めて転出を抑制するといった思考を施策に生かすよう努めること。

自由民主党

市税収入は7億7829万円の増を見込んでいるが、社会情勢の変化に合わせた政策課題に対応するため一般財源の確保は必須である。予算審査の中で昭和50年代から慣例的に行われていた、事業等も見受けられたため、事務事業の無駄を省くだけでなく、事業そのものの見直しにも努めること。

DX推進方針には公共施設のフリーWi-Fiの整備も挙げられているが、コロナ禍の今だからこそ施設でも率先して整備を行い、市民ニーズに応えるべきである。

子育て施策は定住人口の維持・流出抑制も重要な取り組みである。佐倉市の自然という特徴を生かした身近な遊び場の充実も子育て世代へのPRとなり、SDGsの観点からユニバーサル公園も検討していき、佐倉市内外へのシティプロモーションにつなげてほしい。障害者雇用の表彰制度が導入されたが、障害者雇用

を身近に感じるためには、事業の切り出しや障害特性を理解するために職場実習奨励金等を活用し、まずは実習という形で障害者雇用に携わって頂く制度設計を求める。また新規就農の拡充と共に、学校給食に無農薬米や無農薬野菜を導入し、販路の拡大に努めること。

市民ネットワーク

2月議会反対する主な理由
議案1号①(仮) 西部自然公園、城址公園、ふるさと広場拡張整備事業。活用の具体策がなく、市民への説明・公開がまま用地取得等が先行している。

②ペットボトルが集積所回収に変更され手選別が必要で費用が2800万円増額。プラスチック新法で回収方法がさらに変更になれば市民は混乱する。

③子宮頸がんワクチンは重篤な副反応被害により控えていた積極的勧奨を再開。被害の増加は明らかであり、今まで通り予診票を窓口で渡し、しっかりと説明すべき。議案34・35号新佐倉図書館の敷地拡張工事に伴う増額契約。ビジョンなく、市民に知らせず時代錯誤のハコもの行政を進めている。



ひまわりと市民オンブズマン

令和4年度当初予算に反対

水道料金値上げなど長期化するコロナ禍にあえぐ市民ニーズと合致しない。住民票料金は県内第一位。職員人件費は下がったが、市は上昇と言いつつ使用料手数料を値上げする。住民票個人の手数料は400円となる。県内消防団の6割は、4月から出動手当・日額8千円。国の交付金は8千円だが、佐倉市は、日額1500円。交付金繰越ミス コロナ臨時交付金約5億円国へ返還違反行為、再発防止策等明示せず、追徴金理由に財政調整基金から約3億7千万円支出と突然臨時議会を招集。議会軽視も甚だしい。

日本共産党

臨時議会補正予算に反対
佐倉市の事務連絡上のミスの原因に約5億3千万円のコロナ臨時交付金を国へ返還し、市の財源、約3億7千万円を支出する大事件。「お詫び申し上げる」だけでなく、市長、関係職員の罰則も再発防止策も未決。早急に議案の再上程を要求する。来年度開館予定「新佐倉図書館新町活性化施設」予算約30億2千6百万円は、活性化を名目とするがそのための調査が中止。伝統ある事業者を立ち退かせ新町住民事業者の声、可能性を軽視した「箱モノ行政」。開館後も構造物、利用者の不便危険が残るもので反対。

会派に属さない議員

議席3番
一般財源に約4億2500万円の損失を出した繰越ミスによる補正に意見。本件、否決されれば国への延滞金が発生するため賛成したものの、議会提出への説明資料で、原因が千葉県側にあるかのような記述に違和感。佐倉市のミス認めない体質が、本件の根本原因だ。

議席11番
戦争に正当な理由などありません。多くの人の命を奪うもの。「政府の行為によって再び戦争の惨禍が起らないように決意」した日本国憲法。為政者(政府)は守り活かさなければならぬ立場。敵基地攻撃力保有は戦争への道。言えるときに言おう。戦争反対。

議席12番
議案第1号 ロシアによるウクライナへの軍事侵略に対する決議案に賛成する。何人も民間人を巻き込み、他国への侵略行為は決して許される事ではない。人権尊重と、人類の世界平和の観点から、ウクライナからのロシア軍の無条件撤退を切に望む。

※議席番号と議員名の確認は6ページの議案賛否一覧をご覧ください。



委員会報告

※議案は市長提出議案 ○委員長 ○副委員長

総務常任委員会

開催日：令和4年2月21日・3月7日／場所：全員協議会室

《審査結果》

議案10	議案11	議案12	議案13	議案15	議案16	議案17
可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決
議案18	議案19	議案20	議案21	議案22	議案23	議案24
可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決
議案25	議案26	議案33	議案34	議案35	議案37	
可決	可決	可決	可決	可決	可決	

議案20件について審査し、その結果は左表のとおりです。
なお、審査の過程において、次のような意見が出されました。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用においては、交付要件を十分に把握し、市民・事業者にとって必要な事業に有効活用されるよう努めていただきたい。



最終日の委員長報告

〔委員〕 ○敷根文裕、○櫻井道明、松島 梢、齋藤寛之、鍋田達子、木崎俊行、高木大輔

文教福祉常任委員会

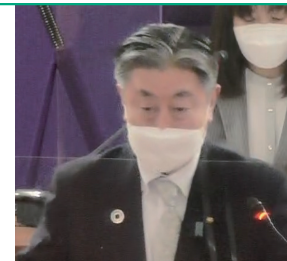
開催日：令和4年2月21日・3月8日／場所：全員協議会室

《審査結果》

議案10	議案11	議案14	議案27
可決	可決	可決	可決

議案4件について審査し、その結果は左表のとおりです。
なお、審査の過程において、次のような意見が出されました。

病児・病後児保育事業については、季節、流行状況により利用者数の変動が大きく、安定的な経営が困難であることに鑑み、子育て支援の観点から安定的な経営ができるよう、さらなる制度の充実を国への要望も含め検討していただきたい。



最終日の委員長報告

〔委員〕 ○岡村芳樹、○徳永由美子、宇田実生子、稲田敏昭、平野裕子、石渡康郎、中村孝治

経済環境常任委員会

開催日：令和4年3月9日／場所：全員協議会室

《審査結果》

議案11
可決

議案1件について審査し、その結果は左表のとおりです。
なお、審査の過程において、次のような意見が出されました。

企業誘致事業については、地域活性化という観点のみならず、税収増加、雇用創出という面からも大変重要であると認識しているが、今後は財政状況も勘案し、より効果的な制度となるよう、事業内容の見直し等についても検討していただきたい。



最終日の委員長報告

〔委員〕 ○爲田 浩、○山本英司、高橋とみお、押木孝和、密本成章、五十嵐智美、藤崎良次

建設常任委員会

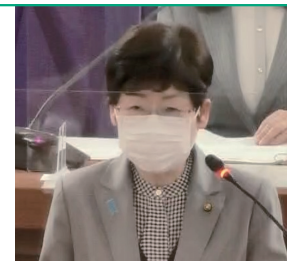
開催日：令和4年2月21日／場所：第一委員会室
3月10日／場所：全員協議会室

《審査結果》

議案10	議案11	議案28	議案29	議案30	議案31	議案32
可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決

議案7件について審査し、その結果は左表のとおりです。
なお、審査の過程において、次のような意見が出されました。

- ・ 明神台調整池水面崩落対策工事の契約に当たっては、専門性の高い事業者
に委託できるよう、仕様書の調整、契約手法の選定について、十分に検討
していただきたい。
- ・ 道路整備に当たっては、相次ぐ通学路での事故を防止する観点から、周辺
の教育施設等に配慮し、交通安全対策を十分に講じていただきたい。
さらには、昨今頻発する風水害や将来危惧される大規模地震に備え、道路
はもとより、橋梁や河川等の整備を着実に進めていただきたい。



最終日の委員長報告

〔委員〕 ○久野妙子、○斎藤明美、川口絵未、石井秀明、岡野 敦、玉城清剛、萩原陽子

議会アンケートは
初めての試み!

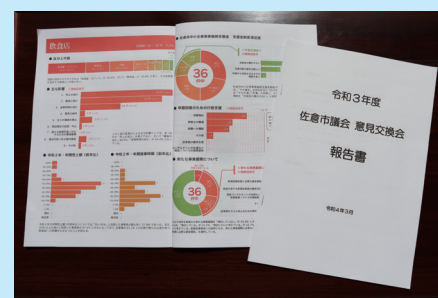
コロナ禍のため意見交換会をアンケート形式で行いました

佐倉市議会では、多様な市民意見を市政に反映させるべく、平成23年より意見交換会などを開催してまいりました。令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大により、意見交換会などの開催を取りやめましたが、令和3年度は従来の対面形式での意見交換会に代えて、インターネット及び書面によるアンケートを実施しました。

この度は、コロナ禍における市内中小事業者の経営実態を把握し、事業継続への行政施策立案に反映させることなどを目的として、昨年4月から10月までを申請期間として行った「佐倉市中小企業事業継続支援金」の申請者1,956名の方にアンケートをご案内し、403名の方にご協力いただきました。

アンケート集計をまとめた報告書は、市議会公式ホームページに掲載しているほか、市役所の市政資料室や市内各図書館に配架しています。是非ご覧ください。

皆様からいただいた貴重なご意見を今後の議会活動に活かしていきたいと思っております。



こちらから
アンケート結果が見られます。

6月定例会の予定

- ◆議会運営委員会 5月31日(火)
- ◆招集日 6月6日(月) 午後1時から
- ◆一般質問 6月13日(月)～16日(木)
- ◆常任委員会 6月20日(月)～23日(木)
- ◆最終日 6月27日(月) 午後1時から

日程は変更する場合があります。
事前に事務局にお問い合わせください。
議会事務局 TEL043-484-6254

- 本会議(招集日・一般質問・最終日)の映像—
- インターネット中継：開催時間中にライブ中継するほか、開催日のおおむね1週間後から録画中継を配信
- CATV放映：開催日翌日午後5時30分から放送
【地上デジタル10チャンネル、デジタルCATV301チャンネル】

議会百景

コロナ禍の生活も2年以上が過ぎました。議会も通常どおりの運営は難しい状況です。障害のあるなしにかかわらず性別、年齢などさまざまな人々が暮らしています。誰もが安心して暮らせる社会の実現のために、あたたかく支える地域づくりが重要なのではないかと考えます。お互いを認め合い、平和でよりよい佐倉市へと進めていきます。

(広報公聴委員 斎藤明美)

予算委員会は、1日6時間で3日間行い、議員の質問時間は1部局当たり1人10分に限られ、とても時間が足りません。

税金の使い方方を市民の代表として審議する場であり、納得のいく質疑を保証するための時間が必要です。現地視察も積極的に行い活発な質疑で市民の期待に応えられる議会であるためにさらなる議会改革が必要で

(広報公聴委員 萩原陽子)